

# 文化映画紹介

## 考えてみよう差別の歴史④⑤⑥

映学社作品

### 渡部実

【スタッフ】企画・制作統括／高木裕己 脚本・演出／細見吉夫 撮影／照屋真治、川端智、安田浩一 イラスト／中野耕一 協力／水平社博物館 東日本部落解放研究所、柳原銀行記念資料館、部落解放同盟大阪府連合会 資料提供／国立国会図書館、米國議會図書館、解放出版社、北海道大学附属図書館、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館、岩波書店、京都崇仁自治連合会、石川啄木記念館、国書刊行会、朝日新聞社、新潮社、毎日新聞社、田邊貴教、毎日映画社、アフロ、共同通信社、柏書房、文藝春秋、河出書房新社、ゆんフリー写真素材集、町田市立自由民権資料館、東京都立中央図書館、部落解放同盟中

央本部、部落問題研究所、米國国立公文書館 監修／全国部落史研究会顧問・桃山学院大学名誉教授・寺木伸明、静岡大学教授・黒川みどり 制作・著作／株式会社映学社 完成2021年 DVD作品 ④22分 ⑤21分 ⑥24分 文部科学省選定作品

【内容】今回は映学社制作による前回の「考えてみよう差別の歴史」シリーズの後篇④⑤⑥を紹介したい。これによって同社の部落差別を主題とした一連のシリーズ全6巻は完結する。構成は次のとおり。

④「解放令」と近代の差別 1章 解放令による身分差別の廃止／2章 新たに生まれた差別の徴／3章 差別をなくすための動き

⑤全国水平社の創立と解放運動の展開 1章／米騒動と被差別部落の立場／2章 全国水平社創立とその思い／3章 戦争に向かう時代の部落差別

⑥戦後の部落問題とさまざまな差別 1章 戦後の部落解放の状況／2章 続く部落差別の問題 就労・結婚／3章 差別の背景と今も続く差別

前回の3巻は日本において人間同士の差別がいかにして発生したか、その起源を縄文時代までさかのぼり、集団生活での獲物の配分、相互扶助などに触れた。やがて狩猟採集の時代を経て大陸から西日本に稲作農業が伝来し、そこ



政府に不満の民衆  
↓ 不満の芽先  
解放令に喜ぶ被差別部落民へ

策を推し進め、農家の働き手は徴兵令のために兵隊にとられた。また「地租改正」で増税が図られる。それらの改正は民衆の負担としてのしかかってくる。民衆の不満はその矛先を解放令に喜ぶ被差別部落民へ向けられたのだ。恐ろしいのは、その部落外の人々が解放令反対一揆をおこし、武器を携えて被差別部落を襲撃し、死傷者も出たのではないかとことである。解放令反対一揆は1877年まで、西日本を中心に24件も起きて

いたという。そこで映画は「解放令後の差別」という見出しを出す。「解放令」で被差別部落の人々が真の意味で自由になったならばそれはよいのだが、このシリーズは解放令が公布されたという歴史的事実のみを提示するのではなく、解放令が出された後、被差別部落民は本当に自由になったのか？という疑問を投げかけ、その理由を徹底して問いつける。原因と結果、この2つが何よりも大事であるといわんばかりだ。そのギャップを中学生にも考えてもらいたいというところであろう。このシリーズは第一に差別問題を生き残る教材として視聴者に提示する。現代の問題を取り上げるため、構成はドキュメントの手法をとる。差別されてきた地域に住む人々の住環境の改善問題については、その地域に住んでいる若い人々にインタビューを行い、生まれ育った環境と部落差別との関係も聞き出している。

事柄は、歴史に即して数多く起きた具体例を取り上げたに過ぎない。映画制作においては、例えばそのごく一部を取り上げて一般の劇映画などにすることも可能であろう。また記録映画にも当地人たちに取材を敢行してその肉声を聞き出すという方法をもって完成した注目作も見られるが、このシリーズは「中学生以上一般向け」という基準があるものの、映画の作者（細見吉夫、監督、監修者の寺木伸明氏、黒川みどり氏）の脚本と構成が、周到に取り組んでおり、引用される歴史資料も豊富。このような言い方は部落差別問題という主題を思うとき、いささか不謹慎であるかもしれないが、全6巻がまるで歴史小説のように興味深く面白い。シリーズの終わりの方で寺木伸明氏の言われた意見が印象に残った。

「部落問題は部落出身者の問題です。部落差別を容認している社会の問題です。在日韓朝鮮人に問題があるのでなく、偏見を持って差別をするからそういう問題が起こるわけで、だから差別する側が事実を知り、差別意識を克服する、差別をなくす努力をしていくことが大事」

また、映学社の本シリーズの企画意図も紹介しておこう。「近年、新しい資料の発見や歴史資料の見直しによって、学校の社会科教科書では、差別の歴史を史実として知るといふ客観的な視点が取り上げられるようになりました。しかし多くの教科書には、身分制社会成立の中で、差別意識がどのようにして生じたのかという歴史的な記述はあまりありません。今なお、偏見による根深い差別意識。根拠のない部落差別、ハンセン病患者などへの無知から生まれた差別、障害を持った人々の人権問題。こうした現代にも残る様々な問題をふまえた上で、差別の歴史を掘り下げ、背景にある問題に目を向けることが大切であると考



とくがわよしの徳川慶喜 (1837~1913)



問合わせ先／映学社 03-3359-1972 9

以上記述したさまざまな

141